

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	学校図書館サポート推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 ▼ 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると			終期
(小項目)	学校教育				
施策	3	義務教育の充実			
基本事業	9	図書館教育と読書活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 12学級以上の小・中学校						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	子どもたちが学校図書館を積極的に活用し、調べ学習や読書活動が活発に行われるなど、学校図書館の活性化が図られた状態。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	12学級以上の学校に各1名を配置。新たに第二中学校に1名配置することとする。 配置校 撫養小、林崎小、第一小、鳴門西小、板東小 第一中、第二中						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		学校図書館サポーターの配置	100	100	100	100	100	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	学校図書館サポーターを配置し、司書教諭と連携しながら、学校図書館運営の支援を行い、学校図書館を活用した教育活動や読書活動の推進を図る。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校図書館サポーター配置校	6	7	7	7	7	校
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学校図書館サポーターの配置		100	100	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	2,499	2,499
		全体予算額	0	0	0	0	2,499	2,499
		決算額	0	0	0	0	2,441	2,441
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費
0.1	0.0		688		3,129			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：学校図書館サポート推進事業】
(千円)

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	2,105	2,441	2499	2499	2499
	うち一般財源	2,105	2,441	2499	2499	2499
	人件費	652	688	688	688	688
	総事業費	2,757	3,129	3,187	3,187	3,187

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		学校司書と連携し、読み聞かせ活動等を行い、読書活動の推進に貢献している。
	効率性	A:効率的だった		人件費は、必要最小限の時間数としており、これ以上削減することは出来ない。
②成果に対する評価	指標名	学校図書館サポーターの配置		12学級以上ある小・中学校へ、学校図書館を1名ずつ配置できている。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		継続的なサポーターの配置により、学校との連携も出来てきているように思われるため、今後も継続して配置をすることで、鳴門市の読書活動の推進に貢献することが期待できる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市の読書活動を推進するにあたり、学校図書館サポーターは重要な役割を果たしており、今後も継続して配置を希望する。また、12学級に満たない学校へのサポーターの配置についても、図書環境充実のため検討していきたい。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	12学級以上の学校へは確実にサポーターを配置し、その他の学校についてもサポーターの配置を検討していく。			
	H28年度	12学級以上の学校へは確実にサポーターを配置し、その他の学校についてもサポーターの配置を検討していく。			